

**金沢工業大学写真部が
大学対抗の風景写真競技会「西日本フォトマッチインカレ 2019」で初優勝。
漂着物のある砂浜などストーリー性のある風景写真に評価**

金沢工業大学写真部が大学対抗の風景写真競技会「西日本フォトマッチインカレ 2019」で初優勝しました。

「西日本フォトマッチインカレ 2019」は、大阪経済大学、大阪工業大学、金沢工業大学、関西学院大学、甲南大学、同志社大学、佛教大学、立命館大学の 8 大学が参加して、令和元年 8 月 24 日（土）、大阪経済大学 A 館フレアホール（大阪市東淀川区）で開催されました。スイスドロー方式で行われた 1 回戦、2 回戦を経て、金沢工業大学、大阪工業大学、大阪経済大学、同志社大学の 4 大学が決勝トーナメントに進出しました。

競技は 8 月 3 日から 8 月 16 日までの期間に、出場大学が立地する大阪、兵庫、京都、滋賀、石川の 2 府 3 県で撮影した風景写真を使い、5 人 1 組のチーム対抗戦で行います。1 対 1 で写真をスクリーンに映し出し、3 名の審査員による紅白の旗による判定で、2 本以上旗が上がった選手の勝ち。これを、選手を替えて繰り返し、3 人先勝したチームが勝ちとなります。スクリーンに映し出す写真は同じ写真は使えず、どの順番でどの写真を映し出すかは運動部の対抗戦同様に、チームワークやマネジメント能力が求められます。

金沢工業大学は決勝トーナメント準決勝で大阪工業大学と対戦し、3 対 0 で勝利。決勝戦は同志社大学と対戦し、3 対 1 で 3 人先勝し、見事、初優勝しました。

写真部部長 高橋遼さん（情報フロンティア学部メディア情報学科 4 年）のコメント

（高橋さんの「高」ははしごだか）

前は 5 位でしたが、今回は後輩たち 5 名で優勝してくれたのでとてもうれしいです。昨年の優勝校の甲南大学と 1 回戦で当たりましたが、勝てたことで波に乗れました。他大学が関西の風景写真が多かったのに対して、金沢工業大学は石川県内の風景を撮影しました。同じ海でも漂着物でいっぱいになった砂浜の風景写真など、ストーリー性を評価していただいたのではないかと思います。

優勝した金沢工業大学写真部のみなさん



右から、

建築学科 1 年 岡田 大蔵(おかだ たいぞう)さん

電気電子工学科 1 年 松田 海辰(まつだ かいと) さん ※風景写真賞受賞

経営情報学科 2 年 笹川 国之 (ささがわ くにゆき)さん

環境土木工学科 2 年 虎澤 勲輝(とらさわ えいき)さん

機械工学科 1 年 遠藤 圭悟(えんどう けいご)さん

審査員



左から

月刊『フォトコン』編集長 藤森 邦晃氏

写真家 星野 佑佳氏

隔月刊『風景写真』編集長 石川 薫氏

「西日本フォトマッチインカレ 2019」について

主催：月刊『フォトコン』（株式会社日本写真企画）・隔月刊『風景写真』（株式会社風景写真出版）、
産業能率大学経営学部 水島章広教授

協賛企業：ニコン、マウスコンピューター、ソニー、リコーイメージング、富士フイルム、オリンパス、
大日本印刷、ベルボン、マルミ、サンディスク、ヴァイテックイメージング、ハクバ

協力：日本学生写真部連盟

優勝した金沢工業大学写真部 5 名の学生作品より



建築学科 1 年 岡田大蔵さん



電気電子工学科 1 年 松田海辰さん ※風景写真賞受賞



経営情報学科 2 年 笹川国之さん



機械工学科 1 年 遠藤 圭悟さん



環境土木工学科 2 年 虎澤 叡輝さん